

「SDGs 未来会議」へ“建設現場のゴミの分別”の取り組みを紹介

未来の子どもたちへの教育支援 ～質の高い教育をみんなに～

総合建設業の株式会社イチケン（本社：東京都港区芝浦、代表取締役社長：長谷川 博之）は、株式会社 宣伝会議（本社：東京都港区南青山、代表取締役社長：東 彦弥）が主催する「SDGs 未来会議」プロジェクトに参画いたしました。この度、当社の取り組みを紹介したシリーズ書籍「未来の授業 SDGs×ライフキャリア探求 BOOK」の販売が開始されましたので、お知らせします。

この書籍は、全国の小中学校と高校・高専に、約 35,000 校へ献本され、学校内の教員研修や生徒の学習教材として、さまざまな形でご利用いただいているものです。イチケンは、将来を担う子どもたちへ建設業が取り組んでいる SDGs を通じて、建設業の仕事に興味をもってもらうため、学生たちでも身近でわかりやすい“ゴミの分別”をキーワードに選定し、紹介しています。

■書籍概要

書籍名：未来の授業 SDGs×ライフキャリア探求 BOOK

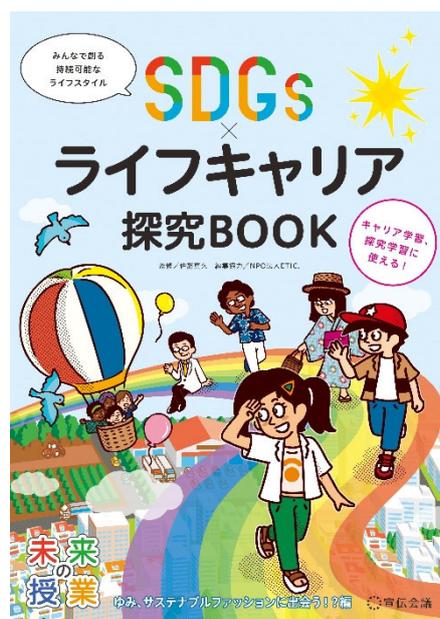
発行日：2024年12月27日

出版社：株式会社宣伝会議

■「SDGs 未来会議」とは

「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成という大きなゴールに向け、SDGs の意義や狙いを幅広い人たちに理解してもらい、一人ひとりの行動につなげていくことを目的に実施するプロジェクトです。詳細については、「SDGs 未来会議」サイトをご覧ください。

<https://www.sdgs-miraikaigi.com/>



イチケンは、「SDGs 未来会議」を通して、次世代を担う子どもたちの学びを支援するとともに、引き続き、持続可能な社会への取り組みを推進してまいります。

【本件に関する問い合わせ先】 株式会社イチケン 経営企画室 高田・清水

TEL : 03-5931-5616 FAX : 03-5931-5619 E-mail : kikaku@ichiken.co.jp

WELCOME | イチケンからの取材招待状



経営企画室
清水 麻衣子さん

建設現場から出るゴミを最小限に！

徹底した分別ルールを取り入れているよ。

Q イチケンさんは何をしている会社なの？



スーパーマーケットやショッピングセンターなどのお店からホテル、スポーツクラブ、マンションまでたくさんの建物を作っているよ。環境にやさしい技術を使って人と未来に寄り添いながら、街づくりのお手伝いをしているんだ。



商業施設の建築を数多く手がけています。写真は東京都豊島区の「アイテラスANNEX」。



ズバリ質問！

Q イチケンさんのSDGsアクションは？

分別方法が一目でわかる容器や看板を設置
建設現場での温暖化対策



建設現場からは、木材や金属の端材、廃プラスチックなどさまざまなゴミが排出されるんだ。これらのゴミを品目ごとに分別してリサイクルすることで、廃棄量を減らして資源を有効活用できる。エネルギーの節約やCO₂の発生削減にもつながるよ。分別ルールが一目でわかるよう工夫した容器や看板で、現場で働くたくさんの人に伝わりやすくしているよ。



素材別に分けられたリサイクル容器が並ぶ。

建設現場ではパトロールを行いゴミ分別を徹底しているよ。



取材の感想

1年間の建設業の産業廃棄物の排出量は約8,094万トン*1。その量は25mプール約22.5万杯分！*2でも、分別してリサイクルに回せば、その分をゴミでなく資源として次につなげられるよね。私も家や学校で、負けないうらい分別するぞ！

*1. 環境省「産業廃棄物の排出・処理状況(令和3年度実績)」より *2. 深さ1.2m、長さ25mとした場合

